

CYBG PLC、Red Hat Openshift で デジタルバンキング・プラットフォームを統一



Clydesdale Bank、Yorkshire Bank、Virgin Money、およびデジタルバンキング・サービス B の親グループである CYBG PLC は、デジタルバンキング・サービスの拡張と標準化を行うことで、マーケットリーダーや新規の破壊的革新者に対する競争力を維持したいと考えました。顧客が求めるスケーラビリティとアジリティを得るため、CYBG は同グループが提供するブランドのうち 3 つのサービス基盤を、Red Hat OpenShift Container Platform をベースとする運用プラットフォームに統一しました。この運用プラットフォームにより、CYBG のビジネスはより効率的かつ顧客を重視したものとなり、長期的な成長の基盤を確立できました。

ソフトウェア

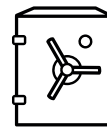
Red Hat® OpenShift®
Container Platform

Red Hat コンサルティング

グラスゴー (スコットランド)



本社



銀行

支店数: **159**

従業員数: **6,500 人**

2018 年の収益: **10 億ポンド超**

「Red Hat OpenShift により、
IT の効率性、信頼性、セキュリティ、
再利用性が向上しました」

CYBG PLC IT サービス統括責任者
Denis Blackwood 氏

メリット

- 需要の変化に対応できるスケーラビリティを獲得し、デジタルバンキング・プラットフォームで対応できる顧客数を 4 万人から 100 万人以上に 12 カ月未満で拡張
- 繰り返しタスクの自動化とハードウェアのリソース使用率の最適化により、IT の効率性を向上
- オープンソース IT のエキスパートの助けを得ながら、将来のイノベーションに向けた確固とした基盤を確立



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

「Red Hat のオープンソース・コミュニティとの取り組みと、OpenShift の成長と開発のスピードは私たちの戦略に最適です」

CYBG PLC プラットフォーム・エンジニアリング担当
テクノロジー・コンサルタント
Steven O'Day 氏

デジタルバンキングを導入して実績ある競争に挑む

CYBG PLC は、Clydesdale Bank、Yorkshire Bank、Virgin Money、およびデジタルバンキング・サービス B の親グループです。銀行業界の現状に破壊的革新を起こすことを目標に掲げ、同グループは決済、貸付、融資市場の進化を受けて、市場シェアの獲得を狙っています。CYBG が継続的に市場をリードしていくポジションを確立するためには、新しい革新的なデジタルサービスを競合他社よりも迅速に投入する必要がありました。

CYBG PLC の IT サービス統括責任者 Denis Blackwood 氏は、次のように述べています。「当行では、デジタルバンクとしての当行の地位を確立し、デジタルサービスを通じて個人顧客の基盤を増大させようと考えています。デジタルサービスに移行すれば、変更の実装にかかる時間が短縮され、運用コストが低減されます」

CYBG は何年にもわたり Yorkshire Bank、Clydesdale Bank、B の各ブランドでインターネットおよびモバイルバンキング・サービスを提供し、従来の支店でのサービスを補完していました。CYBG のデジタルサービスはここ 3 年間で顧客基盤の間に浸透し、その導入率はおよそ 20% から 40% へと上昇しました。同グループはこの動向を受けて iB という共通プラットフォームを開発。これに基づいてデジタル投資プログラムを実施し、2 つの銀行のサービスを統一しました。

デジタル化による成長を継続するため、CYBG は全ブランドを通してサービスと機能を標準化すると同時に、各ブランドが固有の顧客ニーズに対応するためのカスタムサービスを作成できる柔軟性を獲得したいと考えました。さらに、サービスの作成、管理、提供に対するオープンな共通アプローチを取り入れることにより、提供までの期間短縮を目指しました。

「現状では、利率で銀行を差別化することはできないでしょう」と Blackwood 氏は言います。「差別化するには、オムニチャネルの一貫したサービスを提供するほか、付加価値を生み出す余地を見つけなければなりません」

デジタルサービス向けに共通プラットフォームを構築

CYBG では当初、B のモバイルデジタルブランドの基盤としてマイクロサービスの利用を検討し、マイクロサービスベースおよび従来型のプラットフォーム・テクノロジーを混在させる計画でした。しかし、このアドホックなアプローチは iB プラットフォームの初期導入には効果的であったものの、CYBG の各ブランドへ効率的に拡張しようとするといくつかの課題が生じました。

CYBG PLC のプラットフォーム・エンジニアリング担当テクノロジー・コンサルタント Steven O'Day 氏は、次のように語ります。「大きなアプリケーションを複数の小さなアプリケーションに分割すると、管理の必要な依存関係が一気に増えます。あらゆる構成と変更を管理しなければなりません、この作業は従来なら、1 つの大規模アプリケーションのために 1 回行えば済んでいたものです」

すべてのブランドで期待されるアジリティを獲得するため、CYBG は PoC とパイロットプロジェクトを完了した後、Red Hat OpenShift Container Platform に移行することを決定しました。OpenShift Container Platform により、同グループのチームは、オンプレミスでもクラウドでも、ほぼあらゆるインフラストラクチャでアプリケーションをすばやく容易に構築、開発、デプロイできるようになりました。

「オープンソースは私たちにとって大きな意味があります。特定のテクノロジーに依存したくないので、オープンソース・コミュニティで各要素の連携性が重視されていることは、非常に重要です。パフォーマンスに影響を与えることなく、コンポーネントやツールを交換できるようにしたいのです。Red Hat のオープンソース・コミュニティとの取り組みと、OpenShift の成長と開発のスピードは私たちの戦略に最適です」と O'Day 氏は言います。

CYBG は Red Hat コンサルタントおよび Red Hat サポートと提携して、アーキテクチャ設計と実装の支援を受けました。実装を首尾よく終えた今、CYBG では Red Hat OpenShift Container Platform をコアとする運用プラットフォーム上でデジタルバンキング業務のすべてを実行しています。

ビジネスのアジリティを向上しながらコストを低減

柔軟なスケーラビリティ

Red Hat OpenShift Container Platform を CYBG のデジタル運用の中核に据えたことによる主なメリットは、拡張性が強化されたことです。たとえば、iB デジタルバンキング・プラットフォームは当初、顧客によるログインを 1 日 40,000 回サポートしていました。CYBG が OpenShift Container Platform を使用してデジタル運用を統一した現在、iB は顧客によるログインを 1 日 100 万回以上サポートしています。

「OpenShift は開発チームをターゲットにしていることが多いのですが、私たちは本番環境でその能力を活用したいと考えました」と O'Day 氏は語ります。「プラットフォームを構築する際、1 つのノードをクラスタとしてスケールアウトできるようにしました。そして、このスケーリングアプローチがうまく機能することを確認してから、本番環境で使用しました」

これらの変化は、デプロイ戦略の変化にもつながりました。「従来型の銀行 IT は大規模になりがちで、すべてが問題なく機能するか、修復が必要かの二者択一でした。今では、よりデータ重視かつアジャイルに運用できるプラットフォームとマイクロサービスがあります」と、CYBG のプラットフォーム・エンジニアリング・リーダー Derek Alexander 氏は語ります。

効率的な開発

Red Hat OpenShift を導入したことで、CYBG の開発チームは複雑な IT 環境のプロビジョニングや保守管理よりも、ビジネス向けの価値のある新機能の作成に集中できるようになりました。

また、Red Hat OpenShift によってより広範な自動化とオーケストレーションの強化が実現したことも、CYBG における IT 業務効率化の助けとなっています。開発プロジェクト用の環境は必要に応じて構築と削除が可能です。そのため、開発者は 5 分以内で OpenShift 環境にアクセスできます。以前の環境では 3 週間を要した作業です。

O'Day 氏は次のように語ります。「Red Hat OpenShift により、同じ量のハードウェアにパッケージする環境の密度が高まりました。同じ作業を繰り返す必要はなくなり、本番環境以外の不要な環境を保持することもやめました。さらに、開発者がプロジェクトを次の環境に移す際のスピードも格段に向上したため、PoC から迅速に本番導入へ進められます」

開発体制がこのように改善され、CYBG はより効率的で動的な IT 環境を確立できました。この環境は、同グループがテクノロジーのイノベーションにおいて英国の銀行セクターを牽引するにあたっての助けとなります。「IT の効率性と生産性において、すでに目覚ましい変化が現れています。これらの改善により、時間と手間を大きく節約できるでしょう」と Blackwood 氏は語ります。

エキスパートによるオープンソース IT のガイダンス

設計時と実装時に Red Hat コンサルティングの支援を受けたことで、CYBG のチームはオープンソースとエンタープライズ IT のエキスパートから知見を得て、成功を継続するためのベストプラクティスを活用できるようになりました。

「Red Hat の専門知識は、ビジョンと現実の間のギャップを埋めるために役立ちました」と O'Day 氏は語ります。「Red Hat のエンジニアが私たちの取り組みについて、私たちが正しい方法で計画を行っていることや、取り組みがサポート対象であることを確認してくれました。こうした連携により、実現したかったことや、イメージしたものをどう構築していくかを理解しやすくなりました」

デジタルバンキングのメリットを他のシステムにも展開

初期評価と本番環境へのデプロイを終え、CYBG は Red Hat OpenShift への移行が、行内チームと外部顧客の両方に継続的なメリットをもたらすことを見込んでいます。

「あらゆる変更が、自動化されたプロセスにより厳密に管理される。当行では、そのような IT エコシステムを確立するという目標へ向けた取り組みが勢いづいています。また、コンポーネントの拡張とコードの再利用向上を目的とした内部フレームワーク・ライブラリの構築も進んでいます」と O'Day 氏は語ります。

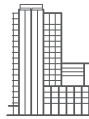
CYBG は、デジタルバンキングの効率性とアジリティにより新サービスの提供を迅速化し、独自のサービス要求に応えていくことで、カスタマーエクスペリエンスの向上を計画しています。「お客様それぞれが当行のサービスで何をしようとしていて、適切な結果を収めたかどうか、把握できるようにしたいのです」と Blackwood 氏は語ります。「そして何より、これらのニーズが生じたらすぐに対応できることが重要です」

これらの取り組みをサポートするため、CYBG では 2020 年までにシステムの 80% をこの運用プラットフォームに移行させる計画です。

「この取り組みの本質は、より少ない時間とコストで、より大きな価値を提供しようとすることです」と Blackwood 氏は語ります。「Red Hat OpenShift により、IT の効率性、信頼性、セキュリティ、再利用性が向上しました」

CYBG PLC について

CYBG PLC は、Clydesdale Bank、Yorkshire Bank、Virgin Money、B の各ブランドを有し、175 年以上の歴史を誇る独立系銀行グループです。確固たる信頼を誇るこれらのブランドは、幅広い金融商品およびサービスの提供を通じて、人と企業の成長を支援しています。信頼に値する権威ときめ細やかな気配りを両立する同グループは、強固な個人顧客の基盤を有し、法人向けの銀行機能を英国全土で提供しています。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat